

2019年5月25日（土）木曾川水辺調査

【学習会の内容】

木曾川で水辺の生き物や水質を調査します。昨年の調査でも、絶滅危惧種のスジシマドジョウ、モクズガニなどたくさんの生き物が確認できました。

講師の方から、生き物の詳しい説明や、自然の大切さなどについて、貴重な話を聞くこともできます。



【学習会の様子】



NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生から、川にはいることの注意を真剣に聞いています。

また、説明を聞いている場所は、去年は川の水が流れていた場所です。

「川の石はなぜ丸いのか？」という話から始まり、「地球の温度はなぜ上がっているのか？」という様々な地球環境の話もありました。



先程、説明を聞いた場所から川の水までの道のりです。

川の水がないことがよくわかります。



この日の一番の大物のニジマスです。見にくいですがヌマエビもいます。

他にはアメンボやオイカワの稚魚、絶滅危惧種のスジシマドジョウなども確認することができました。

学習会の最後には捕まえた生きものを見ながら、川口先生から生きものの説明や飼い方などを学びました。

子どもたちだけではなく、付き添いで来ていた、お父さん・お母さんも真剣に話を聞いていました。

